

地 域 振 興 計 画

<目 次>

【山城地域振興計画】 67頁

【南丹地域振興計画】 73頁

【中丹地域振興計画】 77頁

【丹後地域振興計画】 81頁

山城地域振興計画（中間案）の概要

1 策定趣旨

長期ビジョンでめざす京都府社会の実現に向け、山城地域の資源や特性を活かした地域振興を進めるため、地域の実情を踏まえた将来像を描き、それを実現するための方策を示す。

2 地域特性 ※山城地域は15市町村からなる多様な地域であるため、3つの地域に分けて記載 ＜乙訓地域＞

- 中央部は平坦で緑豊かな田園、住宅地、工業地帯を形成
- 東南部を桂川が流れ、木津川、宇治川と合流し、淀川三川合流域を形成
- 京都と大阪を繋ぐ交通の要衝であり、鉄道、高速道路など基幹的交通施設が集中
- 天王山など歴史的舞台や歴史的史跡・名勝に恵まれ、品質の高いタケノコも有名

＜山城中部地域＞

- 木津川右岸の南東部は主に中山間地であり、大部分が林野で平坦地は僅少
- 山城盆地の中央部にあり、西部の巨椋池は、一大遊水池を形成していたが、干拓事業により水田化
- 第二京阪道路の開通により交通アクセスが向上しており、国道沿線を中心に、機械金属、食料品製造業等の事業所が多数立地
- 平等院、石清水八幡宮等歴史的遺産が多数あり、観光資源として活用

＜相楽地域＞

- 西部から南部にかけては関西文化学術研究都市が広がり、最先端の研究施設が立地
- 東部は、山林地帯が多く、丘陵・傾斜地では全国に誇る宇治茶の生産地を形成
- 近鉄京都線、JRの電化区間は交通の便はよいが、JRの非電化区間が課題
- 木津川、笠置山、茶畑など豊かな自然環境と浄瑠璃寺、岩船寺、海住山寺等歴史的遺産に恵まれている

3 地域の将来像

（1）山城地域振興計画のめざす方向

計画の副題：「人がつながり支え合う、活力・協働・安心の山城交流圏」

「活力」：京都力の発揮 「協働」：地域共生の実現 「安心」：府民安心の再構築

（2）地域の将来像

- ① だれもが思いやりのところでつながり、互いに支え合い、安心していきいきと暮らせる地域
- ② 豊かな自然と歴史、地域を彩る文化がうるおいとふれあいを生み出す地域

- ③ 地域産業の強み・知恵と力を磨き、京都府経済をリードする地域
- ④ 安全な暮らしとひと・もの・情報が交流し、新たな活力を生み出す地域

4 施策の基本方向

- ① 豊かな未来につなげる人づくりと健康で互いに支え合う安心社会の実現
【府民安心の再構築】【地域共生の実現】
- ② 豊かな自然環境と磨き上げた文化が織りなす山城交流圏の形成
【京都力の発揮】
- ③ 新たな知恵や価値を生み出し京都府経済をリードする成長軸の構築
【京都力の発揮】
- ④ 安全な暮らしと、ひと、もの、情報が行き交う活力の創出
【府民安心の再構築】【京都力の発揮】

5 重点施策と地域プロジェクト

(1) 基本的視点

「地域力でつながり、支え合う山城ならではの「活力・協働・安心」の地域共生社会の構築」

各具体的施策においては、地域の様々な課題に対し、住民、NPO等地域団体、大学、企業、福祉団体、行政等が人権を尊重する中で、お互い対等なパートナーとしてプラットフォーム等を通じて交流し、だれもがいきいきと安心して暮らせる山城地域を創っていきます。

(2) 具体的施策の展開

※具体的施策の展開に当たっては、他の項目にある関連する施策と一体で進めていきます。

①健康長寿の地域づくりの推進

(ア) 生涯を通じた健康づくりの推進

- ・学校保健と産業保健の連携により、食育、防煙教育や生活習慣病予防などの取組を推進
- ・市町村、NPO等と連携してがん検診や特定健診の受診率向上を目指す取組を実施 等

(イ) 地域における保健・医療・福祉・介護連携体制の整備等

- ・地域連携クリティカルパスの活用による主要疾病の地域医療連携強化
- ・医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケア体制の整備を推進
- ・救急医療、休日診療、小児救急体制の充実支援 等

(ウ) 健康危機に強い地域づくり

- ・健康危機発生時に向けた訓練等を実施し、関係機関の対応を強化
- ・住民への啓発や要配慮者の生活支援など、市町村との協議を実施

②子どもや障害のある人などだれもが安心して生活できる環境づくり

(ア) 地域の子育て支援

- ・子育てサークルなど関係機関との連携による「地域の子育て力」の向上 等

(イ) 児童虐待の防止

- ・南部家庭支援センター、市町村等と連携した児童虐待の早期発見、見守り体制の強化 等

(ウ) 障害児・者の地域生活支援

- ・発達障害者支援センターやNPO等地域団体と協働し、発達障害児の早期発見と早期療育体制を整備 等

(エ) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

- ・府営住宅模島団地（仮称）をモデルにだれもが暮らしやすい空間を創出

(オ) 自殺予防対策

- ・府自殺ストップセンターと連携して相談ネットワークを構築 等

③郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

(ア) 社会総がかりで子どもを育てる環境づくり

- ・子育て関係機関団体等のネットワークを充実させ、社会総がかりの子育てを推進 等

(イ) 科学好き・ものづくり好きの子どもの育成

- ・子どもたちに最先端の科学技術や本物のものづくりに触れる機会を提供し、科学好き・ものづくり好きの子どもを育成 等

(ウ) 感性を磨き「ことばの力」を豊かにはぐくむ読書活動の推進

- ・ファミリー読書などにより、読書活動を推進 等

(エ) ふるさと意識の醸成

- ・「地域学習」の推進や各種施設の活用により、地域に誇りを持つ子どもを育成 等

(オ) 児童生徒の体力の向上

- ・駅伝開催や総合型スポーツクラブなどの活用による子ども達の体力向上

④地域の資源を活かした「やましろ観光」の推進

(ア) 地域の観光資源の魅力を高めるための施策の推進

- ・地域資源などを活用した体験型観光等、着地型のニューツーリズムを推進 等

(イ) 積極的な観光情報の発信

- ・地域の魅力的な観光資源を様々な媒体を活用して地域内外に発信 等

(ウ) 広域観光連携推進体制の整備

- ・関係団体と広域的に連携し、広域観光連携推進協議会の設置を検討 等

⑤共に進める豊かな森と里づくり

(ア) モデルフォレストの推進

- ・府民・企業等の参加を拡大するとともに、森の大切さを子ども達に啓発 等

(イ) ウッドマイレージCO₂認証制度による地域産木材の利用

- ・地域産木材を供給する体制を整備し、住宅等で活用 等

(ウ) 放置竹林の拡大防止と竹の利活用

- ・竹作業の専門家を養成し、放置竹林の拡大防止を推進 等

(エ) 野生鳥獣被害に強い地域づくり

- ・サル・シカ等による農林被害を減少させるため、有害鳥獣の捕獲や追い払い等の対策を推進

(オ) ふるさと保全・地域力・里山再生機能の構築 等

- ・高齢化率の高い地域中心に「命の里」づくりを支援、推進 等

⑥地域を彩る文化の育成と新たな創造

- (ア) 国民文化祭を契機とした地域文化の振興と文化を担う人づくり
 - ・国民文化祭で開催される市町村の文化フェスティバルが、地域の文化として根付くよう支援 等
- (イ) 伝承文化の再発見と復興
 - ・古来から育まれてきた祭り、踊り等地域に伝承する文化を振興 等
- (ウ) 市民文化の醸成による人と人が支え合う地域づくり
 - ・音楽、芸能、芸術、生活文化など様々な市民文化活動を支援
- (エ) NPO等地域団体と共に育む地域文化
 - ・地域の伝統文化や市民文化等を振興しているNPO等地域団体を支援 等

⑦山城の豊かな自然と人が共生する環境の保全

- (ア) 多様な自然の特性に応じた保全
 - ・歴史的な自然環境、竹林や里山、河川、水辺等様々な自然環境をそれぞれの特性に応じて適正に保全 等
- (イ) 農山村の良好な景観の保全・創造
 - ・茶畑や竹林などの景観を地域住民とのパートナーシップなどにより守り育てる取組を推進 等
- (ウ) 環境情報の整備・提供
 - ・様々な環境情報を提供するネットワークを構築し、自主的な環境保全・創造活動や環境学習を促進 等
- (エ) けいはんなエコシティの推進
 - ・学研都市において、ハード、ソフト両面から環境に優しい「持続可能な都市づくりのモデル」を構築

⑧「宇治茶の郷づくり」の推進

- (ア) 香り高い宇治茶の生産振興の推進
 - ・優良品種への転換や被覆棚設置、GAP手法導入など、安心・安全な良質茶葉の生産を支援 等
- (イ) 宇治茶の歴史と文化の再発見の推進
 - ・宇治茶歴史街道を軸とした歴史・文化の再発見や宇治茶カフェの拡大により、宇治茶ファンの拡大（消費拡大）を推進 等
- (ウ) 宇治茶の郷からの情報発信
 - ・情報誌やホームページなど多様なメディアを活用して情報を発信

⑨安心・安全な農産物づくりと担い手対策の推進

- (ア) 安心・安全で新鮮な農産物の生産・供給体制の強化（地産地消の推進）
 - ・人と環境に優しい農業技術の普及・促進や生産履歴情報の整備等を促進

- ・「やましろ新鮮野菜応援プロジェクト（仮称）」により、やましろ野菜のブランド力を強化
 - ・特色ある直売所づくりや広域的な直売所ネットワークづくりを促進
- (イ) 地域の農産物生産を支える担い手の確保・育成
- ・野菜産地担い手養成塾の開設支援等により、新たな担い手を確保・育成
 - ・農商工連携や6次産業化による新たな農業ビジネスの展開等を支援

⑩地域経済の活性化と雇用を創出する元気な企業づくり

- (ア) 元気な中小企業づくり
- ・「オンリーワン倶楽部」の活動などにより、企業のブランド力強化、地位向上を支援 等
- (イ) 学術研究施設の集積を生かした産学公連携の推進
- ・大学、研究機関等と山城企業のマッチングを推進 等
- (ウ) 企業誘致の推進と立地企業の定着
- ・用地情報の提供等により新たな企業誘致を推進
 - ・立地企業の立地満足度の向上を通じて、企業の定着、新たな事業展開を推進

⑪地域の未来を拓く「関西文化学術研究都市」

- (ア) 「けいはんなエコシティ推進プラン」の推進
- ・「環境・エネルギー分野」での研究開発や新産業の創出を推進し、「持続可能な都市づくり」のモデルを構築 等
- (イ) 新産業の創出、企業立地促進による地域の活性化
- ・産学公連携やコーディネイト機能、シーズの活用による新産業を創出 等
- (ウ) 国際化に向けた都市活動の展開
- ・海外の研究拠点との交流提携等による外国企業の立地、対日投資を促進
- (エ) 文化の薫る創造的な都市
- ・文化施設の集積などを活用した文化の薫る創造的な都市活動を展開
- (オ) 学研都市の活動を支える基盤整備
- ・産学公連携、新産業の創出、交流人口の増加、安心・安全なまちづくりのため、交通基盤、河川等の整備を促進

⑫地域交流・活性化を促す交通基盤の整備

- (ア) 広域交通網の整備促進
- ・新名神、第二外環、JR奈良線複線化
- (イ) 幹線道路等の整備推進
- ・幹線軸、支援軸、地域軸 他
- (ウ) ソフト施策の推進
- ・市街地における徒歩、自転車、公共交通への転換を促す取組を推進 等
- (エ) 防災対策や適正な維持管理の推進
- ・道路斜面の崩壊防止、橋梁の耐震補強 等
- (オ) 住民協働の推進
- ・公共施設に対する住民への啓発や府民参画の取組を推進 等

⑬自然災害からの安心・安全とうるおいのある空間の創出

(ア) 河川・砂防施設等の整備

- ・国の三川や府管理の河川・砂防施設等の整備と併せて市町村と連携して公共施設等を貯留浸透施設として活用する等総合的な治水対策を推進 等

(イ) 農地・農業用施設の防災対策の推進

- ・農業用排水路の改修整備、老朽ため池の改修整備を促進 等

(ウ) 防災情報の提供と情報ネットワークの強化

- ・河川映像情報の提供、市町村と連携した避難体制の整備推進 等

(エ) 水辺環境の整備

- ・親水性や緑に配慮した環境整備を推進 等

(オ) 多様なニーズに対応する空間の創出

- ・淀川三川合流域における河川公園整備を促進 等

(カ) 住民協働の推進

- ・ワークショップによる整備計画の策定 等

(3) 地域プロジェクト

①「次世代ものづくり産業創造拠点」プロジェクト

京都市南部や乙訓・山城北エリアを中心に集積する企業間の連携を進め、高度な技術と国際的な競争力を備えた製品開発等を重点的に支援することを通じ、京都経済の牽引エリアとしての一層の成長を促進します。

②「宇治茶の郷づくり」プロジェクト

日本を代表するブランドである宇治茶を核として、JR奈良線の複線化とタイアップしながら、観光振興、ブランド農産物輸出、集客ビジネスなどを一体的に推進します。

③広域観光・交流創造プロジェクト

淀川三川合流域や里山、茶畑、竹林などの豊かで多様な自然、長岡京跡や恭仁京跡、平等院や石清水八幡宮、浄瑠璃寺、岩船寺など優れた歴史的文化遺産を活かした広域観光やJR奈良線複線化、阪急新駅、京都第二外環状道路整備などにより更なる交流を促進し、活力ある地域を創造します。

④関西文化学術研究都市推進プロジェクト

○「学術研究・未来の都」プロジェクト

関西文化学術研究都市において、世界レベルの情報、環境、健康（医療）、農業（食）等に関する科学技術の粋を結集し、科学技術と生活文化が融合した新たな都市を創造します。

○「環境・アグリバイオパーク」プロジェクト

関西文化学術研究都市において、環境、アグリバイオの研究拠点を整備し、関連する研究機関や研究開発型産業施設が集積する国際研究開発拠点を形成します。

南丹地域振興計画（中間案）の概要

1 策定趣旨

長期ビジョンでめざす京都府社会の実現に向け、京都丹波地域の資源や特性を活かした地域振興を進めるため、地域の実情を踏まえた将来像を描き、それを実現するための方策を示す。

2 地域特性

- 強み
- 豊かな自然・景観と便利さが調和
 - 豊富な地域資源（教育・文化・観光等）
 - 京都の交通の要衝・結節点
 - 環境にやさしい京都の総合的な食料供給基地
 - 未曾有の危機を経験・克服し、安心・安全を強く意識
 - 農業分野への参入をはじめ、新たな企業立地
 - 地域で支え合う“共助”の気風の下、行政との協働が進行
- 課題
- 少子高齢化に伴う担い手不足
 - 地域的一体感の醸成
 - 交通網の整備や景観保全（観光戦略との連携）
 - 都市部と農山村部との地域間格差
 - 学学間連携をはじめとする教育機能の充実
 - 企業の集積力をはじめとした豊富な資源の活用

3 地域の将来像

（1）戦略目標 “きずな”と夢あふれる「京都丹波」の郷

- ・多様なネットワークにより、地域の“きずな”を築きます。
- ・「京都丹波」を地域ブランドにします。

（2）めざす姿

- みんなでつくる思いやりと信頼の絆で結ばれた明日の「京都丹波」
- 一つひとつの創意工夫が開く「京都丹波」、名実ともに、京阪神からひと足のばしの「京都丹波」
- 地域資源・地域の特色を活かし、支え合い、協働でつくる「京都丹波」の農山村・農林業
- 誰もがその人らしく、安心して健康で暮らすことができる「京都丹波」
- 様々な交流があり、誰もが安心・安全・快適に暮らせる「京都丹波」交流の郷

4 施策の基本方向

地域の戦略目標や将来像を実現するために、次の基本方向（5本柱）に基づいて、「京都丹波」の地域振興に取り組んでいきます。

（1）安心・安全で、次世代へ繋ぐ京都丹波づくり *【府民安心の再構築】【地域共生の実現】*

- (2) ものづくり産業の振興と豊かな食材、資源等を活かした京都丹波観光の展開
【京都力の発揮】
- (3) 「地産地商」の推進と「山すそ興し」など“きずな”の深まる地域づくり
【京都力の発揮】
- (4) 誰もが健やかに暮らし、支え合う京都丹波づくり 【地域共生の実現】
- (5) 内外の交流基盤を整備する京都丹波の郷づくり 【京都力の発揮】

5 重点施策と地域プロジェクト

- 京都丹波の地域振興を計画的かつ一体的に推進するとともに、各施策間の連携や協調を図るため、具体的な18の重点施策を展開します。
- また、特に局内各部局横断型のプロジェクトチームをつくり、局の総力を挙げて取り組む事業を、10の「きずなプロジェクト」(重点構想)として位置付け、重点的に取り組みます。

(1) 安心・安全で、次世代へ繋ぐ京都丹波づくり

①安心・安全で住みやすい地域づくり

- ・「自助」「共助」「公助」の視点で、危機に強い地域づくりを目指します。

②人権尊重と自立と協働による思いやりと信頼の絆づくり

- ・人権尊重の視点に立った、協働の地域づくりを進めます。

③明日の京都丹波を担う人材の育成

- ・次世代を担う子どもや若者が、地域に誇りと愛着が持てる取組を進めます。

④地域に伝わる豊かな自然や歴史文化を活かした地域づくり

- ・国民文化祭の開催を通じて、地域資源の情報発信、文化の次世代継承など、特性を活かした取組を進めます。

⑤環境保全の取組の推進

- ・地域の安心・安全の基盤となる環境保全に向けた意識啓発、実践的取組を支援します。

きずなⅠ 地域共生まちづくりセンター（仮称）プロジェクト

- ・地域住民、地域活動団体、大学等の教育機関、行政等の様々な主体が、情報共有、相互交流を図り、地域課題を協働で解決するワンストップ型総合支援窓口機能を有するセンターを設置し、地域の取組をコーディネートします。

きずなⅡ モデルリバー（仮称）プロジェクト

- ・森林の生態系とも密接な関わりを有する由良川水系・桂川水系の水辺環境を次世代に継承するために、「モデルフォレスト運動」で培われたネットワークを活用し、企業参加も求めながら、河川環境の保全活動に取り組みます。

(2) ものづくり産業の振興と豊かな食材、資源等を活かした京都丹波観光の展開

⑥京都丹波の強みを活かしたものづくり拠点の整備

- ・伝統産業と近代産業の融合による産業拠点「京都新光悦村」の整備をはじめ、京都丹波の恵まれた自然や食材を活かした食品製造業、医療関連業などの新規 企業の誘致など、ものづくり拠点の整備を進めます。

⑦企業人材の育成、雇用の確保を含めた経営環境の整備

- ・企業・産業支援機関等によるネットワーク化を推進し、企業経営環境を高めるとともに、地域の雇用を守ります。

⑧京都丹波ならではの観光サービススタイルづくり

- ・「京都丹波」ブランドにより地域イメージを確立するとともに、「大丹波連携」等との取組連携により、随所に点在する観光資源の魅力アップを図ります。

きずなⅢ 「新京都伝統工芸ビレッジ」プロジェクト

- ・伝統産業と近代産業の融合により新しい生活文化を提案する産業拠点「京都新光悦村」に、新しい知識と匠の技を兼ね備えた未来の職人を養成する高等教育機関の設置を推進します。

きずなⅣ 京都中部ものづくり産業支援ネットワークプロジェクト

- ・ものづくり産業を中心とした企業の経営環境を高めるための「ものづくり産業ネットワーク（仮称）」を構築するとともに、雇用促進を目指す「ものづくり産業就業フェア」を開催します。

きずなⅤ 京都丹波の彩りプロジェクト

- ・この地域の農林畜産物等の豊かな地域資源や自然環境、引き継がれてきた伝統文化などを「京都丹波ブランド」として地域イメージの確立を図るとともに、京都府・兵庫県にまたがる丹波地域の観光面での広域連携を深めます。

(3)「地産地商」の推進と「山すそ興し」など“きずな”の深まる地域づくり

⑨「地産地商」の推進

- ・アグリベンチャー企業の誘致や提案型集約化森林施業方式の推進、丹波くりの6次産業化プロジェクトを進めます。

⑩「山すそ興し」など、“きずな”の深まる地域づくり

- ・山と田畑の境界線上の「山すそ」に着目した生産エリアの活用や、農山村の生活文化を現代に活かす取組、「里の仕事人」を通じた人材育成等による集落の再生など、“きずな”の深まる地域づくりを進めます。

⑪地域ぐるみで共に育てる京都丹波の農林畜産物

- ・資源循環型の畜産・農業の確立や、「京都丹波米」の「特A挑戦プロジェクト」、「京かんざし（金時にんじん葉）」等の新規戦略作物の生産拡大、農産物直売所のネットワーク化を進めます。

きずなⅥ 「京都丹波食と森の交流の都」プロジェクト

- ・食材や森の文化を満喫できる「京都丹波ブランド王国」の形成を目指し、自然・農業を起点とした京都丹波ならではの新しい農山村観光スタイルの創出や、企業と農業者の連携を深める「京都丹波アグリベンチャーバレー」の取組、さらには、ジビエ街道の整備や「山すそ米」のブランド化に取り組む「山すそ興し」を展開します。

(4)誰もが健やかに暮らし、支え合う京都丹波づくり

⑫障害のある方が持てる力を発揮し希望を持って暮らすことのできる地域の実現

- ・「施設から地域へ」と支援施策の中心が移る中で、地域で働き、自立して生活できる専門性

の高い「相談・支援」「就労支援」の体制整備を図ります。

⑬すべての親子が「すくすく・いきいき・のびのび」育ち合う地域づくり

- ・子育て家庭の孤立化と虐待を未然防止するため、支援相談体制の充実や「子育てパートナー」の活動支援等、親も子も育ち合う地域づくりを進めます。

⑭住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉安心型」健康長寿社会の推進

- ・健康づくりを社会全体で支援していくため、医療・介護・福祉を一体化した「地域包括ケア体制」の実現を目指します。

きずなⅧ 南丹オリジナルブランド「ぬくもりなんたん」プロジェクト

- ・地元大学など共同開発したほっとはあと製品「京のつちたま」に続く、新製品を「ぬくもりなんたん」としてブランド化し、広く販売することにより、障害のある方の工賃収入アップにつなげます。

きずなⅨ 「すくすく・いきいき・のびのび」育ち愛プロジェクト

- ・乳幼児期の発達から子育て家庭の支援まで、親子が共に育ち合うための継続的な支援を市町と連携して実施します。特に、低体重児への支援体制づくりや社会全体で子育て家庭を応援する環境づくりを進めます。

きずなⅩ 京都丹波健康づくり健診・受診・安心プロジェクト

- ・健診の受診率を高めるため、「なんたん健康づくり応援キャラクター」を活用したキャンペーンを展開し、住民参加による自主的な健康づくり運動の取組を支援します。

(5) 内外の交流基盤を整備する京都丹波の郷づくり

⑮明日の京都丹波の礎を築く交流の郷づくり

- ・安心・安全の基盤となる緊急道路ネットワークの確保や河川整備に取り組み、広域的な交流拡大を図る「交流の郷」づくりを進めます。

⑯交流の基盤となる道路ネットワークの整備

- ・郷ノ口余部線を今後の検討路線とすることをはじめ、様々な交流が行き交う基盤となる道路ネットワークを形成します。

⑰安心・安全な暮らしを支える洪水・土砂災害対策の推進

- ・水害からまちを守る河川等の整備を、より効率的・効果的な洪水・土砂災害対策として進め、まちづくりと一体となった河川整備も進めます。

⑱豊かな自然環境の保全と快適で人にやさしい地域づくり

- ・自然環境や景観への配慮とともに良好な道路・河川管理を進めるため、府民協働の道づくり川づくりに取り組み、地域の自主的な取組を支援します。

きずなⅪ 明日の京都丹波の礎を築く交流の郷づくりプロジェクト

- ・「国道423号」及び「府道綾部宮島線」を今後の検討路線にするとともに、「畑川ダム」及び「保津川かわまちづくり」の整備を推進します。

中丹地域振興計画（中間案）の概要

1 策定趣旨

長期ビジョンでめざす京都府社会の実現に向け、中丹地域の資源や特性を活かした地域振興を進めるため、地域の実情を踏まえた将来像を描き、それを実現するための方策を示す。

2 地域特性

- ◆丹波と丹後の個性あふれる生活・文化・経済圏を形成してきた中丹地域
- ◆『新中丹』シンフォニーにより、地域の絆が深まる中丹地域
- ◆インフラ整備が着実に進むなど、未来へ向かって大きな夢の持てる中丹地域

3 地域の将来像

関西広域交流時代の「みやこ」をめざして

- ◆人・もの・情報が大きく交流していく時代において、中丹地域は、高速道路網の整備や舞鶴国際ふ頭の供用等のインフラ整備が進んでいます。
こうした特性を活かし、中丹地域に住む人々にとって、この地域こそが輝かしい「みやこ」であると思える地域づくりを進めていきます。
また、「府県を越えて広がる関西北部交流エリアの結節点」、「関西全域と北東アジアとを結ぶ日本海側の玄関口」として、中丹地域をより大きなエリアの中で捉え、「関西北部・日本海側の活性化の原動力、交流の『みやこ』」となることを目指していきます。

4 施策の基本方向 <5つの中丹デザイン>

(1) 人にやさしく、安心・安全で住み続けたいまちをつくる

長期ビジョンの基本方向の第一、「府民安心の再構築」に対応

(2) 森・里・川・海の自然に恵まれた環境をつくる

長期ビジョンの基本方向の第三、「京都力の発揮」に対応

(3) 豊かな地域資源の活用とものづくりが織りなすブランド拠点をつくる

長期ビジョンの基本方向の第三、「京都力の発揮」に対応

(4) 信頼の絆と交流・連携により、にぎわいあふれるまちをつくる

長期ビジョンの基本方向の第二、「地域共生の実現」に対応

(5) 将来を担う人をはぐくみ、地域の未来につながる仕組みをつくる

長期ビジョンの基本方向の第三、「京都力の発揮」に対応

5 重点施策と地域プロジェクト

<基本方向に基づき、今後4～5年間に取り組む各分野の重点施策>

(1) 人にやさしく、安心・安全で住み続けたいまちをつくる

(1) ー① 地域で支える子育て・子育ての推進 子育て・子育ての安心

- 「ほめかた絵本」などを活用したほめ上手な子育ての普及促進
- 子育て家庭の負担軽減などによる子どもが健やかに育つ環境づくり
- 発達障害児療育などの拠点施設の整備
- 子どもの人権擁護や家庭問題の解決への支援
- 青少年が健やかに育つ環境づくり

(1) ー② 医療・介護・福祉の連携と生きがいづくり 医療・福祉の安心 長寿の安心

- 地域医療体制の充実と健康長寿の風土づくり
- 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケア体制の整備
- 高齢者の生きがいづくり
- 障害のある人の生活支援と社会参加・交流の拡大

(1) ー③ 安心・安全な暮らしの確保と生活基盤の整備 暮らしの安心 交流連帯

- 由良川改修等と連携した道路・河川整備
- 防災・減災対策の強化
- 府民参画による暮らしを支える生活基盤の整備と人にやさしいまちづくり
- 安心・安全なふるさと定住に欠かせない交通手段の確保と情報格差の是正
- 危機管理体制の強化をはじめとした安心・安全の確保

(2) 森・里・川・海の自然に恵まれた環境をつくる

(2) ー① 環境にやさしい生活スタイルと環境ビジネスづくり 環境の「みやこ」

- 環境について学び・触れる機会の拡大と環境意識の向上
- 環境にやさしい地域づくり
- 快適な環境の整備・持続可能な循環型社会の構築とエコビジネスの推進

(2) ー② 国定公園・里山・由良川などの自然との共生と活用の促進 環境の「みやこ」

- 国定公園などの優れた自然・景観の保全と魅力発信 希望に輝く地域づくり
- 野生鳥獣害に強い地域づくりの推進
- モデルフォレスト運動等森林保全活動と由良川里山回廊構想の推進
- 森林整備の担い手の確保・育成と森林整備から木材利用までのシステムづくり
- 由良川流域環境保全型農業の推進

(2) ー③ 暮らしと調和した農山漁村づくりの推進 ふるさと定住

- 人・もの・情報が循環する元気で豊かな地域づくり
- 里力再生に向けた集落リーダーの育成とむらづくり
- 都市農山漁村交流活動の推進
- 農山漁村の定住促進対策の推進

(3) 豊かな地域資源の活用とものづくりが織りなすブランド拠点をつくる

- (3) ー① 農林水産業の担い手育成と食のブランド力の強化 人づくり
■農林水産業の多様な担い手育成・組織づくりへの支援 産業革新・中小企業育成
■ブランド商品の生産拡大とブランド力の強化
■新たな地域特産物の推進と茶生産の振興
■魅力ある直売所を核とした地産地消と農商工連携等の推進

- (3) ー② ものづくり人材の育成と新ビジネスの創出 働きの安心 人づくり
■緊急経済・雇用対策の推進と地域総合就業支援拠点 産業革新・中小企業育成
の整備 新たなコミュニティづくり
■ものづくり産業への技術支援と人材育成
■中丹新ビジネスの創出
■中小企業への経営支援の充実
■地域連携による街の賑わい回復と商業の活性化

- (3) ー③ 京都舞鶴港・ものづくり拠点を活かした経済交流の促進 産業革新・中小企業育成
■京都舞鶴港を活かした物流の活性化と物流関連産業の集積 人づくり
■北京都ものづくり拠点構想の推進 希望に輝く地域づくり

(4) 信頼の絆と交流・連携により、にぎわいあふれるまちをつくる

- (4) ー① 人権の尊重と多様な主体による地域社会参画 人権尊重 地域力再生 男女共同参画
■様々な人権問題の解決に向けた取組の推進 新たなコミュニティづくり
■地域力再生プロジェクトによる地域力の強化
■中丹パートナーシップセンターを中心とした地域ネットワークの構築
■地域で輝く女性の応援と男女共同参画の推進
■地域の魅力の再発見と積極的な情報発信の推進

- (4) ー② 人でにぎわう広域観光の推進 産業革新・中小企業育成
■中丹スポーツ観光の推進
■広域連携による丹波ブランドのイメージ強化
■日本海沿岸観光の推進

- (4) ー③ 「人・もの・情報」の交流・連携基盤づくり 交流連帯
■「人・もの・情報」がつながる基盤の整備
■JRやKTRなどの鉄道の活性化と利用拡大
■都市基盤等の整備

(5) 将来を担う人をはぐくみ、地域の未来につながる仕組みをつくる

(5) -① 郷土を愛して将来の夢に向かう教育の推進 学びの安心

- 質の高い学力の育成を目指し、自ら学び、自らを高める教育の推進
- 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進
- 信頼を高める学校づくりの推進
- 社会総がかりで子どもたちを豊かにはぐくむ環境づくり

(5) -② 豊かな自然と歴史にはぐくまれた地域文化力の向上 文化創造

- 中丹地域ならではの国民文化祭の開催 希望に輝く地域づくり
- 国民文化祭に向けた気運醸成と地域文化活動等への支援
- 地域固有の文化の保護と発展への支援
- 由良川里山回廊による交流・連携の推進
- 文化力による地域振興事業の推進

(5) -③ 平和を愛する国際的な風土づくり 人づくり

- 平和を大切にす環境づくりの推進
- 国際交流の推進
- 地域に根ざして活動するリーダーの育成
- 学術・研究機関の連携による地域課題解決の仕組みづくり

<5つの中丹地域戦略プロジェクト(地域振興方策を分野横断的に推進・展開するプロセス)>

◆計画の推進に当たっては、複雑多岐にわたる課題を解決するため、関係部局間で連携し、管内3市等と連携・協働しながら、戦略的に取り組んでいくことが必要であり、また、将来の中丹地域づくりの新しい芽や仕組みにつなげていくことが重要です。そのため、地域振興方策を分野横断的に推進・展開していくプロセスとして、以下のプロジェクトを新たに計画に位置づけています。

I 未来に輝く人づくりプロジェクト (地域の未来を担う人づくりを展開)

II 元気な農山漁村づくりプロジェクト (住み続けられるふるさとづくりを展開)

III 世界をつなぐ拠点づくりプロジェクト (将来に向けた地域拠点づくりを展開)

「京都舞鶴港ランドブリッジ構想」の推進

「北京都ものづくり拠点構想」の推進

IV 由良川里山交流連携プロジェクト (広域連携による地域交流を展開)

「由良川里山回廊構想」の推進

V きらめく魅力発信プロジェクト (積極的な魅力発信を展開)

丹後地域振興計画（中間案）の概要

1 策定趣旨

長期ビジョンでめざす京都府社会の実現に向け、丹後地域の資源や特性を活かした地域振興～丹後のもっている「宝」を活かした「元気な丹後」～を進めるため、それを実現するための方策を示す。

2 地域特性

- (1) 位置・地勢など：人々を魅了する自然景観に恵まれた丹後地域
- (2) 歴史・文化：歴史・文化のロマン溢れる丹後地域
- (3) 産業：豊かな食、古代以来のものづくりの伝統、技術が息づく丹後地域
- (4) 人口など：高齢者など人々がいきいきと活動する健康長寿の丹後地域
- (5) 生活基盤等：京阪神へのアクセス充実により発展を目指す丹後地域

3 地域の将来像

～地域のもっている「宝」を活かした「元気な丹後」～

4 施策の基本方向

第1 産業振興による丹後地域の活性化

1 丹後地域の活性化を牽引する観光立地 【京都力の発揮】

過疎化や少子高齢化が進行し、今後も人口減少が予想される中において、地域の自然・文化・歴史遺産を活かす「観光」を牽引役として、交流人口を増やし、「食」関連を始めとする様々な産業への波及効果により、雇用拡大など地域の活性化を目指します。

2 ものづくり産業等地域産業の振興 【京都力の発揮】

丹後地域の活性化を支える産業基盤として、織物業・機械金属業など「ものづくり産業」等地域産業について、担い手の確保・育成を図るとともに、産地の強みを生かして更なるスキルアップ、経営体質の強化を進めます。

第2 環境と文化の伝承 【京都力の発揮】

産業振興、地域振興、まちづくりなどを通じて、丹後地域の豊かな景観・自然・環境・文化を次世代に守り伝えるとともに、質の高い環境・文化を創造していきます。

第3 府民が共に生き活きと安心に暮らせるまちづくり

1 人々が交流・連携する地域共生 【地域共生の実現】

地域力再生活動の推進をはじめ、より利用しやすい公共交通の実現など、ふるさと定住や、地域の生活や活動、地域内外の交流を支えるとともに、一人ひとりの人権が守られ、自分らしく暮らせるための地域を創造します。

2 府民安心のまちづくり 【府民安心の再構築】

少子高齢化などで人口減少が進行する中で、保健、医療、福祉施策や防災対策を充実し、健康長寿で安心・安全に暮らせる生活基盤を整備します。

5 重点施策と地域プロジェクト

第1 産業振興による丹後地域の活性化

1 丹後地域の活性化を牽引する観光立地

(1) 丹後「日本海観光」プロジェクト（日本海観光構想の実現に向けて）

＜地域の魅力を結集し、テーマ性ある資源活用による観光誘客＞

- ◆ 丹後王国、丹後七姫伝説など丹後の歴史・文化・伝説や、伊根の舟屋、ちりめん街道、宮津城下町の町並みなど、テーマ性のある資源を活用した観光誘客の推進

＜体験型メニューや温泉の活用＞

- ◆ 丹後の魅力ある地質遺産を活かしたジオツーリズム、漁船クルージング・漁業体験などのブルーツーリズムなど体験型メニューの創出や温泉を活かした「癒し」と「健康づくり」

＜外国人観光客誘客の推進＞

- ◆ 公共交通機関と連携した観光プラン、滞在を促進する旅行商品の開発、外国語対応、異文化理解の推進など東アジアをターゲットにした外国人誘客受け入れ体制の整備

＜観光を支える基盤づくり＞

- ◆ 京都縦貫自動車道の早期整備、蒲入バイパスなど丹後半島一周道路の整備による観光を支える基盤づくり

(2) 「丹後・食の王国」プロジェクト（丹後・食の王国構想の実現に向けて）

＜ブランド農水産物の生産力強化・販路拡大＞

- ◆ 丹後産コシヒカリ10年連続特A評価を目指す取組、ブランド京野菜・黒大豆の生産団地化や予約相対取引の拡大など生産力強化、販路拡大による丹後の強みを活かした製品の増強

＜食関連ビジネスの創出とネットワークの構築＞

- ◆ 農商工連携ファンドの活用、水産資源の利用による加工食品の開発と食関連ビジネスの創出、丹後あじわいの郷などを中心とした食関連施設のネットワークづくりや食品産業の集積

＜特色ある新食材の開発普及＞

- ◆ 丹後産宇治茶産地の確立、猪肉等の有効活用推進や安定供給システムづくり、丹後とり貝や育成イワガキなどブランド水産物の生産拡大など、丹後の特色を活かした新たな食材の開発普及

＜観光と連携した新商品開発と地産地消の推進＞

- ◆ 観光業者と1次・2次産業が連携した新商品開発や味めぐりマップの作成、旅館・ホテルでの地元食材活用に向けての集荷・供給システム構築のための取組など

観光との連携、学校・福祉施設を対象とする教育・体験ファームや安定供給システム構築に向けての取組など地産地消の推進

〈四季折々の食材の戦略的PR〉

- ◆ インターネット、情報誌を活用し、丹後産コシヒカリやMSC認証のズワイガニなど丹後を代表する農産物、水産物の魅力、丹後の四季折々の食材やレシピなどを戦略的にPR

〈担い手確保等、「食」を支える基盤づくりと有害鳥獣対策の推進〉

- ◆ 情報提供ネットワーク整備や就業環境整備、経営力向上のための支援を通じた担い手の確保、ほ場・藻場・漁業施設など生産基盤整備などの「食」を支える基盤づくりや、広域捕獲や狩猟免許取得促進など有害鳥獣対策の推進

2 ものづくり産業等地域産業の振興

〈「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成・試作・研究開発〉

- ◆ 織物業・機械金属業技術者を対象とする技術研修、技能検定資格取得支援、企業と織物・機械金属振興センターの連携による試作・研究開発など、「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用

〈新加工技術の活用支援や販路開拓等による織物業の振興〉

- ◆ ハイパーシルク等の新加工技術の活用支援、百貨店・セレクトショップでの定期展示販売、ヨーロッパなど海外に視点を向けた販路開拓、きもの着用の機会を広げる和装振興など、丹後ちりめんなど織物業の振興

〈試作産業の育成や地域企業ネットワーク化等による機械金属業の振興〉

- ◆ 企画力、設計・開発力向上を目的とした人材育成、素材から仕上げまで一貫生産できる強みを活かした地域企業のネットワーク化の推進、試作産業の育成など、機械金属業の振興

〈中小企業サポート体制の整備と商店街活性化〉

- ◆ 元気な地域づくり応援ファンドの活用、中小企業サポートチームによる経営課題に応じた相談支援などの中小企業ステップアップ支援や商店街活性化の取組支援

〈産業振興を支える基盤整備〉

- ◆ 京都縦貫自動車道の早期整備や、鳥取豊岡宮津自動車道の事業推進など産業振興の基盤となる道路整備の推進

第2 環境と文化の伝承

〈山陰海岸ジオパークの活用や天橋立の世界遺産登録の推進〉

- ◆ ジオパークガイドの育成、ジオツアーコース設定など山陰海岸ジオパークの世界ネットワーク加盟やジオパークを活用した観光振興等の推進をはじめ、松並木保全・海岸清掃・浸食対策など環境保全活動、国際シンポジウム開催など天橋立の世界遺産登録を目指した取組の推進

〈丹後の豊かな自然を守り育てる取組〉

- ◆ モデルフォレスト運動の推進や利用間伐の推進による健全な森林の育成・保全、シーブルー事業や浅水代かきの普及、阿蘇海環境づくり協働会議の取組など阿蘇

海の環境改善、丹後海と星の見える丘公園・マリニピアを活用した環境学習、竹材のバイオマス活用の実証試験など、丹後の豊かな自然を守り育てる取組の推進
〈地域文化の伝承と国民文化祭による文化活動の活性化〉

- ◆ 地域力再生プロジェクト支援事業の活用などによる地域行祭事や食などの文化の伝承や国民文化祭を通じた文化活動の気運醸成

第3 府民が共に生き活きと安心に暮らせるまちづくり

1 人々が交流・連携する地域共生

〈人権の尊重〉

- ◆ 様々な人権問題の解決に向けた施策を推進

〈地域力再生への取組〉

- ◆ 地域コミュニティ放送等を活用した地域活動の情報発信や、高齢者・子育て支援ネットワークの構築、丹後NPOパートナーシップセンター機能の充実など地域力再生・NPOとの協働の推進

〈ふるさと定住と地域を担う人づくり〉

- ◆ Uターン志望者の情報収集や地元企業への情報提供など丹後Uターンセンターによるふるさと定住の推進や、大学・府民との協働による「ふるさと保全活動」、「命の里」事業など地域再生の取組の推進

〈利用しやすい公共交通ネットワークの実現と地域内道路整備〉

- ◆ KTR、路線バスの連携による、より利用しやすい公共交通ネットワークの実現や幹線道路の通年2車線確保の推進など地域内の道路網の整備

2 府民安心のまちづくり

〈医師確保対策と地域医療対策〉

- ◆ 医師バンク制度、奨学金制度、自治医大出身医師の配置など医師確保対策、高度医療機器整備・救急専門医配置・地域共同利用型電子カルテシステムの導入など与謝の海病院の地域医療支援病院機能の充実など、地域医療対策の推進

〈高齢者支援体制の構築〉

- ◆ 徘徊認知症高齢者の検索システムに取り組む地域の拡大、認知症症例の協同検討など府立医大と連携した介護保険事業所支援システムなどの認知症地域支援体制づくりをはじめ、地域包括ケア体制の整備、特別養護老人ホームの整備など、高齢者支援体制の構築

〈安心安全な消費生活の実現〉

- ◆ 消費者あんしんチームによる被害案件への迅速な対応や消費生活学習グループの育成や活性化、出前講座や高校生に対する消費生活講座などによる安心安全な消費生活の実現

〈災害に強い安心安全のまちづくりの推進〉

- ◆ 災害時要配慮者の情報共有、治水対策・土砂災害対策の推進、災害と雪に強い道路ネットワークの整備、治山事業による緊急防災対策の実施など、安心安全のまちづくりの推進